

# 【H30地域IoT実証推進事業】

## 産学官連携による地域一体となったプログラミング教育(南城市)

H30.7.13現在

<b>提案者</b>	沖縄県南城市
<b>展開元モデル</b>	全ての地域で実証可能な、現実的かつ効果的なプログラミング教育の実証モデル (参考：H28補正総務省「若年層に対するプログラミング教育の普及推進事業」徳之島町、遠野市および石垣市モデル)
<b>事業概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄エリアでプログラミング教育推進に関わる産学官が連携し、必修化に向け沖縄全体への展開を見据えた基本モデル及び自立的に推進できる体制※・環境を構築する。(※琉球大学及び(一社)沖縄STEM教育センター)</li> <li>・市内小学校において、ICT機器とスクラッチを使用したプログラミング授業を児童向けに実施することで、創造的に思考し、課題を発見・解決していく手法で自発的な学びと倫理的思考醸成を目指す。</li> </ul>

### 本事業のねらい

- ①南城市の小学校で沖縄におけるプログラミング授業の在り方・展開についての検討(課題の一つは、教員の意識向上)
- ②展開可能な基本モデルの創造及び自立的に推進する体制構築

### 事業イメージ

#### メンター

**地域の人材(大学生や地域ボランティア)**

- ・「プログラミング」と「論理的思考の醸成」の両面を備えた指導者・メンター育成
- ・集合型研修やWebツールで習得した知識をもとにカリキュラムに沿って現地です児童へ指導補助を実施(次年度以降は自走予定)

#### 児童

- ・タブレット等により、身近でストレスなくプログラミング学習できる環境
- ・グループ学習のアクティブラーニングによる、学びあいの実践
- ・自主学習用のクラウド型教材を無償で提供

指導用端末 学習用端末

市立小学校(全9校)に啓発活動を実施し、選定校にカリキュラムを実施

Scratchベースのカリキュラムによる指導教材の一貫性確保

### 沖縄STEM教育センター・ケイスリー・琉球大学・沖縄県

産主導で学官と連携し、沖縄におけるプログラミング授業の在り方・展開について検討する

**産**

(一社)沖縄STEM教育センター・ケイスリー株式会社

**学**

琉球大学(地域連携推進機構・工学部・教育学部)

**官**

沖縄県  
沖縄ITイノベーション戦略センター

<本事業についての検討>

- ・児童への学習効果と意欲向上の検証
- ・教員、メンターの意識変化
- ・特に新たな指導要領への不安低減を図る(啓発活動による教員へのケア)

<今後の展開方策についての検討>

- ・沖縄で持続的に展開可能なモデルの在り方例:教員免許更新免許更新講習のカリキュラム化
- ・各地域の個人教育ボランティアへの活動支援と活動参画の促進

### 南城市(教育委員会)

【連携支援】

- ・事業推進コーディネート
- ・ICT環境の整備
- ・実証内容の県内普及活動

- ・プログラミング教育のためのICT環境整備
- ・円滑な運営のための事業支援

NTT西日本